

## 東京ホッケー協会第12回理事会議事録

日時：平成30年3月10日（土）9:00～12:00

場所：品川総合体育館

出席者：（理事）和田明仁、一川邦彦、正田実、青木剛、菅野芳哉、林正巳、鍋田茂子、右川誠治

10名中8名の理事の出席があり、本理事会は定足数を満たし、開催された。

議題：

### 【承認事項】

1. 2017年第11回THA理事会議事録承認  
問題なく承認された。

### 【報告事項】

1. 定時総会日程に係わる件  
定時総会は4月28日（土）10時～12時（予定）に品川総合体育館B1会議室にて開催する事とした。
2. 法人化検討に係わる調査費の予算化について  
法人化についてはこれまでの経緯を踏まえ、またコンプライアンスに留意し、正会員に丁寧な説明を行って進めていきたいと考えている。このため、理事会として次年度、新たに調査費を予算化し、法人化に向けた調査・研究を実施する。
3. 委員承認  
ホームページより申込みのあった委員（THAスタッフ）を承認した。  
現在、委員総数は60名に上っているが、未だ十分に活躍の場を得ておられない方も居られる。委員は任期1年としており、改めて新年度継続の意思を確認し、活躍を期待したいと考えている。

### 【報告事項】

1. 定時総会開催に係わる件  
前述のように総会日程は確定したが、その他準備状況が以下の様に報告された。
  - \* 開催案内送付範囲の決定  
全正会員並びにTHA委員に招集通知を送付する。  
2017年度正会員（＝THA登録チーム）が議決権を有する事となる。
  - \* 正会員「年度・新規登録」の取りまとめ状況  
現在57チームが正会員登録をして居り、最終的に60チームを超える見込みである。
  - \* 新任理事推薦の状況について  
第5回連絡会及び会員メールを通じて3月2日を期限として理事推薦を求めてきた。その結果、宮田知（明治大学）、市川明（White Sticks）、多氣洋平（メトロ東京）の3氏の推薦があった。
2. （駒沢委員会）チャレンジカップの準備状況について  
チャレンジカップについては2/25に駒沢委員会を開催し、HJL福島理事にも出席していただき、大会運営について議論をした。福島氏からは、現時点で「損保ジャパン」の協賛を得る事は出来たが、未だ大会名称等は確定しておらず、チラシ、パンフレットも作成できていない状態である、との報告があった。大会当日のスケジュールから、午後の試合については協賛の範囲に影響は少ないが、午前中のイベントについては不確定の点も多く、基本的にTHA主体で運営する方向で詰めを行った。

チャレンジカップ開催まで残すところ1週間となり、本日は午後にはHJL内藤理事長、福島理事を交え、別途駒沢委員会を開催し、大会開催に向けて最終的な打合せを予定している。

3. (駒沢委員会) 駒沢球技場の利用について

\* シニア&レディーズ大会の開催 (4月30日) について

下記要領で開催する事とした。

- ・ 初めての本格的な6人制ホッケー大会として実施する事とし、第一球技場に2面のラインを引く。
- ・ 従来の「シニア&レディーズ大会」参加者は勿論のこと、「My Hockey カップ」「tue-kyu」参加者にも声を掛ける。
- ・ 大会経費は参加費1,000円/人で賄う事とする。

\* 関東学連、社会人連盟の使用に関するルール作りについて

次年度から関東学連、社会人連盟の使用が増えるが、今年度の様にTHA駒沢委員会で全てをフォローする事は難しい。そこで、以下のような基本的なルールを策定した。

- ・ 使用日ごとに会場責任者を決め、駒沢運動場に予め届け出る。
- ・ 会場責任者名で屋内球技場事務所に第一球技場の必要なゲートの開門を依頼するとともに、テニスコート側物置のカギを借用する。
- ・ THA側は一般的な試合に必要な競技用備品をテニスコート側物置に常置しておく。
- ・ 終了後は、テニスコート側物置の状況を写真に残し、カギをかけ、会場責任者は屋内球技場事務所にカギを返却し、終了を報告する。
- ・ 会場責任者は物置の写真及び申し送り事項をTHA駒沢委員会担当委員にメールで報告する。

このルールを実行するため、チャレンジカップ期間中にスタンド上物置及びテニスコート側物置の整理をする事としている。

次回開催予定：2018年4月8日(日)を予定する。

上記決議を確認するため、本議事録が作成され、会長及び副会長が署名捺印した。

平成30年3月10日

東京ホッケー協会  
会長  
和田 明仁

和田明仁 

副会長  
一川 邦彦

一川邦彦 